



住友電気工業株式会社

お問い合わせ先

<https://sei.co.jp/>

【大阪本社】 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-5-33 (住友ビル)
人事部 人材採用部 採用企画グループ
TEL:06-6220-4134 / E-mail:go@info.sei.co.jp

【東京本社】 〒107-8468 東京都港区元赤坂1-3-13
人事部 人材採用部 東京人事・採用グループ
TEL:03-6406-2610 / E-mail:go@info.sei.co.jp



SUMITOMO
ELECTRIC
GROUP

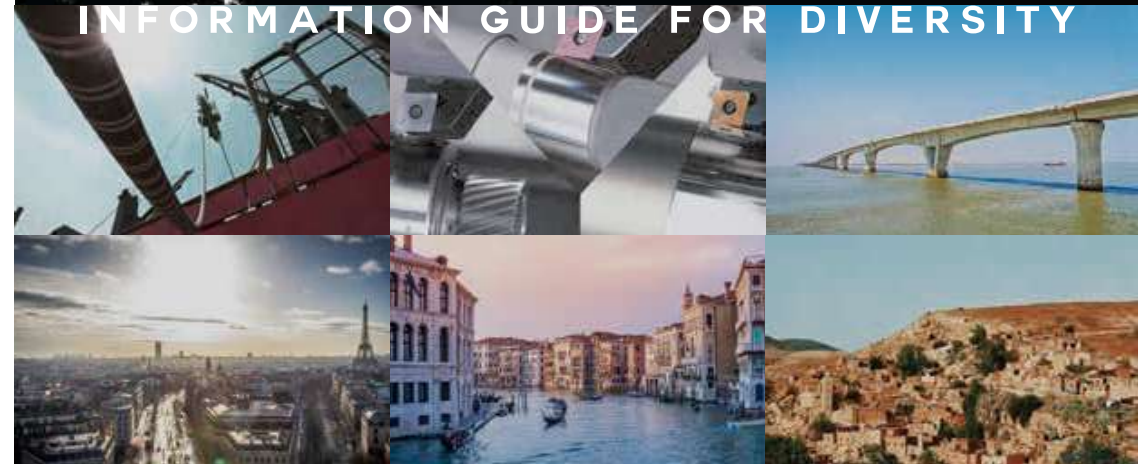


SUMITOMO ELECTRIC INDUSTRIES, LTD.



ダイバーシティ
インフォメーションガイド

-女性・留学生の活躍に向けて-



INFORMATION GUIDE FOR DIVERSITY

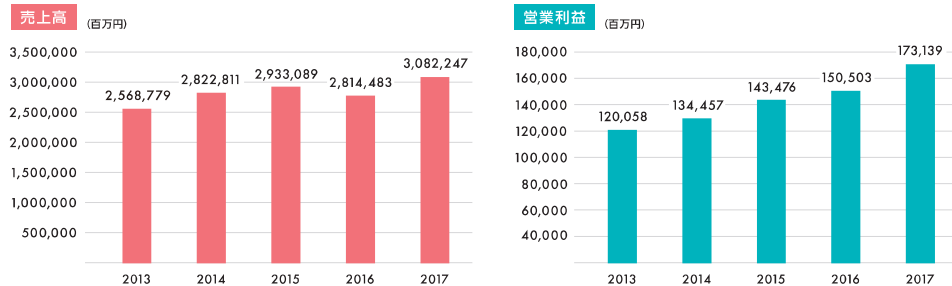
社会のいろんなところに住友電工 世界のいろんなところに住友電工

だから、もっといろんな人と働きたい。

社会のいろんなところに住友電工

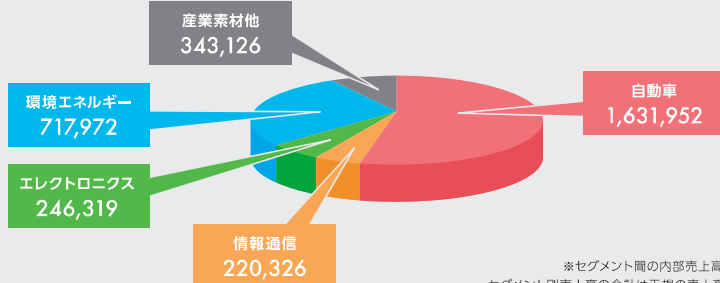
住友電工は銅電線の製造技術を基に、電力用ケーブルや通信用ケーブル、自動車用ワイヤーハーネス、電子線照射電線・チューブなど幅広い新製品を開発。一方、導体の伸線技術を活用して特殊金属線や超硬合金工具、焼結部品などを作りました。また、化合物半導体、フレキシブルプリント回路、ハイブリッド製品、システム製品などの分野に領域を広げ、現在、「自動車」「情報通信」「エレクトロニクス」「環境エネルギー」「産業素材」という5つの事業分野を確立しています。今後もこれらの技術をベースに、新しい事業領域に展開・挑戦し、よりよい社会の実現に貢献していきます。

業績推移(連結)



事業セグメント別売上高

(2018年3月末) (単位:百万円)

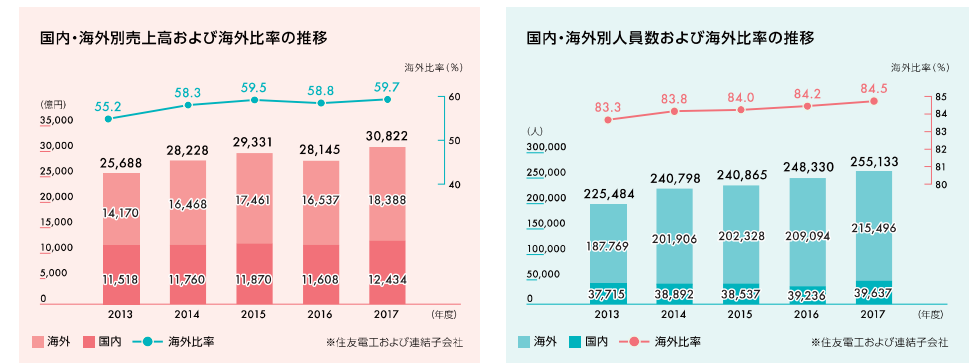


*セグメント間の内部売上高などを含むため、セグメント別売上高の合計は正規の売上高とは異なります。

世界のいろんなところに住友電工

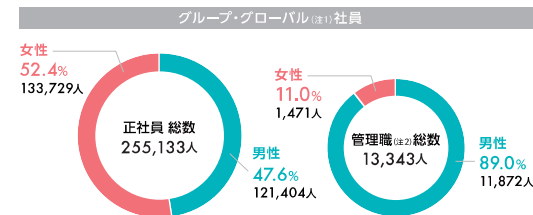
住友電工は全世界40カ国に拠点を展開。関連会社は約400社。全世界のグループ従業員25万人を超える企業です。そして世界各地で様々な事業を展開して社会のいろんなところに製品を提供しているからこそ、もっといろんな人と働きたいと思っています。

国内・海外別売上高と人員数および海外比率



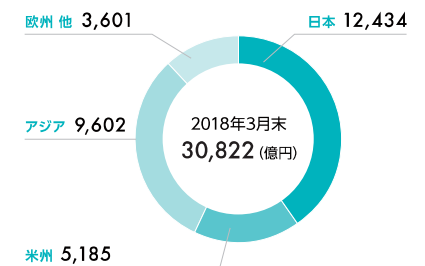
男女社員比率・男女管理職比率

(2018年3月末)



(注1)住友電工および連結子会社 (注2)管理職:課長級以上

地域別売上高(連結)



地域別連結対象会社数

ヨーロッパ	ハンガリー 3	アジア	香港 5	オセアニア・中央・アフリカ	
イギリス 7	フランス 5	インド 7	台湾 6	エジプト 2	
イタリア 2	ブルガリア 1	インドネシア 12		オーストラリア 3	
ウクライナ 1	ベルギー 1	カンボジア 1	北・南アメリカ	オーストラリア 3	
オランダ 3	ポーランド 4	シンガポール 4	アメリカ	サウジアラビア 1	
スペイン 1	モルドバ 1	タイ 23	アルゼンチン 1	チュニジア 3	
スロバキア 2	ルーマニア 3	フィリピン 11	カナダ 2	モロッコ 4	
セルビア 1	ロシア 5	ベトナム 10	ブラジル 7	南アフリカ 2	
チェコ 1		マレーシア 5			
ドイツ 12	日本 109	韓国 7	メキシコ 10		
トルコ 4		中国 75			

会社概要

商号	住友電気工業株式会社
本社所在地	大阪市中央区北浜4-5-33(住友ビル)
創業	1897年4月
資本金	99,737百万円
社長	井上 治
従業員数	単独 5,100人 連結 255,133人 (2018年3月末)

ダイバーシティ推進に向けての 具体的な取り組みと成果

▶ 新卒女性採用比率が事務系40%以上、技術系15%以上に 海外からの留学生採用も増加

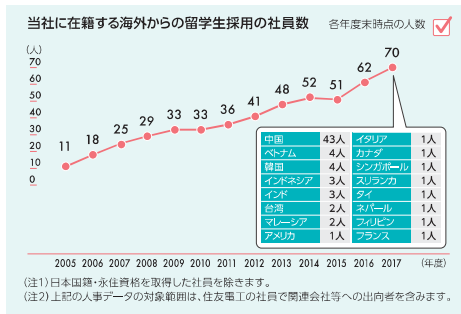
■ 目標と実績

女性活躍に関する第一期行動計画の目標と実績

区分	目標	実績	達成
採用	新卒総合職採用における女性の割合 事務系:40%以上 技術系:15%以上	42.9% 15.4%	○ ○
登用	管理職(主席以上)および係長職に占める女性の割合 管理職:1.5%以上 係長職:10%以上	1.7% 10.3%	○ ○

女性活躍推進法に基づき、女性の採用と女性の登用に関する目標と行動計画を策定しています。
2016年4月から2018年3月末までの第一期行動目標を達成。第二期でも同じ目標達成を目指しています。

■ 海外からの留学生採用



▶ 出産関連

- 産前産後休暇 産前6週間産後8週間(※産前休暇については本人が希望すれば8週間前から取得可能)。
- 配偶者出産休暇 出産当日(予定日を含む)の前後30日間で5日間。

▶ 育児関連

- 育児休業 子どもが満3歳になるまで、父親も、母親と交代もしくは同時に子どもが満3歳になるまで取得可能。
- 短時間勤務 子どもが小学校6年生を終了するまでの期間、1日2時間30分まで勤務時間を短縮可能。
- 時間外勤務の免除 子どもが小学校6年生を終了するまでの期間、時間外勤務の免除が可能。
- 育児時間 1歳未満の子どもを養育している女性は、休憩時間とは別に1日2回、各30分育児時間を取得可能。
- 託児所 横浜、大阪、伊丹、東京の4事業所において託児所を運営中。

▶ その他サポート

- 在宅勤務制度 一定の条件を満たす社員全員を対象として、5日/月を限度とする終日在宅勤務のほか、緊急を要する事象への対応時や、海外との電話会議等実施時に関して、1日のうち一部を在宅で勤務する部分在宅勤務を導入。
- カフェテリアプラン補助増額 カフェテリアプラン(選択型福利厚生制度)の育児・介護関連メニュー及びスポーツ関連メニューは補助額を2倍、託児所・保育所関連メニューは補助額を4倍に増額する。

▶ ワーク&ライフ支援制度

女性をはじめ、すべての社員が仕事も生活もともに充実できる職場環境づくりを目指して住友電工では、社員が持つ能力を更に発揮できるように“ワーク&ライフバランス”を推進するための制度改革、環境づくりへの取り組みを2007年春にスタート。社員の声を集め、以下6つの項目を中心に積極的に推進しています。

1. 育児や介護に関する制度の整備、拡充(育児休暇制度、時短勤務制度、在宅勤務制度等)
2. 女性社員の交流・ネットワークづくりを支援
3. すべての職場でワーク&ライフバランスに関する対話を実施
4. ワーク&ライフバランスの周知と教育啓発の実施
5. メリハリのある働き方を実現するための労働時間の見直し
6. 有給休暇取得促進のため、2017年度より「計画有休制度」を導入

こうした活動により当社は「次世代育成支援対策に取り組んでいる企業」として2007年4月に厚生労働省より認定され、引き続き2009年、2011年、2013年に再認定されています。経済産業省と東京証券取引所の共同企画で、女性活躍推進に優れている企業を選定・紹介する「なでしこ銘柄」について、2016年度に認定されました。女性活躍推進法に基づき、女性活躍推進に関する優れた取り組みを行う企業を厚生労働大臣が認定する制度である「えるぼし」認定において、2016年8月に最高位である3段階目の認定を取得しました。

▶ 在宅勤務の対象範囲拡大

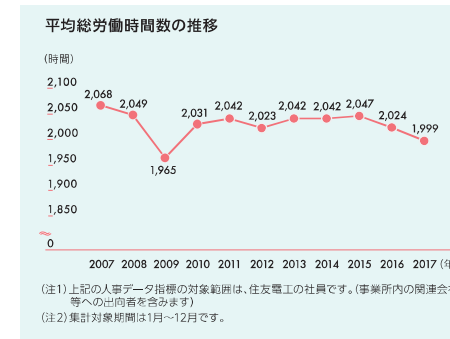
育児・介護などにより、会社での就業に一定の制約を受ける社員が自宅などで就業できる仕組みとして、2016年度より在宅勤務制度を導入しています。また、さらなる柔軟な働き方の実現や生産性の向上、優秀な人材の確保などを目的として、2018年1月にテレワークトライアルを実施。2018年7月には東京本社の勤務者を中心に総務省などが主催の「テレワーク・デイズ」に参加し、在宅勤務の対象者拡大に向けた検証を進めてきました。その結果、「タイムマネジメントの意識向上」や「業務に集中できる」などの一定の効果が確認できたため、2018年10月より、自律性を持って業務を遂行し、成果を創出できるなどの要件を満たす社員を対象に、現行の在宅勤務制度を拡大。同制度の拡大において、社外から社内システムにアクセスするツールの改善や運用ルールの策定など、IT環境の整備も進めています。

	2018年10月16日以降	従来
対象者	下記の要件を全て満たし、上長が認めた社員。 1. 勤続3年以上の者。 2. 自律性を持って業務を遂行でき、成果を創出できる者。 3. 職場と同等の成果が期待される業務を有し、必要な知識・スキルを保有している者。 4. 会社からノートPCが支給、または部門共有のノートPCが使用可能であること。 5. 在宅勤務時の就業場所において、インターネット環境が整備され、業務に専念できる者。	下記の要件を全て満たし、上長が認めた社員。 1. 「妊娠・出産」「育児」「介護」「傷病・障がい」の事由別要件のいずれかを満たすこと。 2. 勤続3年以上で、在宅勤務でも自律性を持って業務を遂行できる者。 3. 在宅勤務でも同等の成果が期待される業務を有する者。 4. 在宅勤務時の就業場所において、インターネット環境が整備され、業務に専念できる者。
実施日数	月5日まで取得可能	
勤務場所	自宅や勤務地以外の当社事業所	自宅もしくは要介護者宅

▶ 配偶者海外赴任等休職制度

2017年4月、社員が配偶者の海外赴任等を理由に退職することを防ぎ、休職扱いにすることで、仕事と生活の両立を支援し、継続的な勤務を可能とすることを目的とした配偶者海外赴任等休職制度を制定しました。

▶ 時間外労働時間推移



▶ 有給休暇取得日数推移

平均所定外労働時間および平均有給休暇取得日数の推移

年	平均所定外労働時間/月	平均有給休暇取得日数/年
2007	22.1時間	11.4日
2008	21.0時間	12.1日
2009	14.2時間	12.4日
2010	19.1時間	11.5日
2011	20.5時間	12.3日
2012	18.6時間	11.7日
2013	19.3時間	10.4日
2014	20.4時間	12.1日
2015	20.8時間	12.1日
2016	20.2時間	14.1日
2017	19.3時間	16.0日

(注1) 当社の組合員平均 (注2) 集計対象期間は1月~12月です。

住友電工にはものづくりへのこだわりと、働きやすい環境がある。



中村 美琴 MIKOTO NAKAMURA

入社年 2015年

専攻 工学研究科 システム創成専攻

研究開発部門 情報ネットワーク研究開発センター 無線伝送システム研究部

▶ サークルも仕事も、成果を出すために重要なのは綿密なコミュニケーション。

私は工学部の電気系学科を卒業。大学時代は大きなものをつつてみたいという思いから、鳥人間サークルに所属して人力飛行機を作り、毎年琵琶湖に飛行機を飛ばしに行っていました。速くに飛ばすには機体の性能も大切ですが、そのときの風の状況や飛ばす時の環境・コンディションも大切。メンバー全員の努力もあり、3年生のときに鳥人間コンテストで優勝し、良い思い出になりました。当時も仲間とよく話し合っていたので成果につながったのだと思いますが、今の仕事でも密なコミュニケーションをとることを大切にしています。全体スケジュールや自分がどう動くのが最適かを考えて、今の自分の状況をまわりに発信したり、チーム内でこまめに情報共有することを心掛けています。

▶ やりがいを持って働く社員に惹かれて。

大学時代は無線通信のアナログ回路という分野を扱う研究室に所属していたので、就職活動ではその関連から情報収集をスタート。具体的な業界としては通信関連の企業や、アナログ回路の繋がりに測定器・精密機器・医療機器などのインフラ企業やメーカーを中心に会社を探していました。そんな中、住友電工の選考を受けるきっかけとなったのが、OBリクルーターの方からのお話。私の大学では、電気系学生を対象とした就活イベントが毎年開催されているのですが、そこに住友電工もブースを設け、リクルーターの方を派遣していたのです。お会いしたリクルーターの方に女性もいらっちゃったので女性でも長く働けるという印象を受けたのと、住友電工が通信分野に力を入れていたことは魅力的でした。実際に工場見学に行くとOBの方々と話してみると、やりがいを持って働いていることが伝わってきて、より心惹かれました。ぜひ社員の方と一度話をして欲しいと思っています。

▶ 結婚を機に、変化した環境が刺激に。

入社後最初の2~3年は、横浜製作所の電気回路のICなどを設計する部署に所属。無線通信用の電気回路の研究開発をしていました。その後、結婚を機に異動希望を出して現在所属している大阪製作所の無線関係の部署に異動。ちょうど大阪のポジションで空きがあり、いろいろなタイミングがうまくかみ合ったのです。無線通信という分野は一緒ですが、横浜にいたときはICを作っていたのに対して、今はICを使ってもう少し規模の大きいモジュール製品を作っています。環境にはやや変化がありましたが、それも刺激となりましたし、専門分野を深めることができているという実感があります。

▶ 強みを活かして、新たな製品を世に送り出す。

どういう製品のどういう規格のものが欲しいかをクライアントからヒアリングし、それに沿った製品を開発するのが仕事の大きな流れです。営業担当と一緒にヒアリング段階で同行し、ディスカッションすることもあります。今関わっている2つの品種のうち、1品種の取りまとめを任されていて、そこにやりがいと面白さを感じています。現在、携帯電話システムが4Gから5Gに移り変わるタイミングで、開発が加速しているため、短い納期での対応が必要。5Gに向けて今までと違った構成の基地局がでてくるため、我々の製品も様々な対応が必要になります。いろいろな挑戦していきたいですね。そのためにもチームの一体感が必要不可欠。クライアントからは窒化ガリウムという化合物半導体の分野の強みを生かした製品を期待されています。競合他社に比べると優位な面があるので、そこをうまく活かせるように開発しています。今開発している製品が採用されて、自分が開発した製品が世に出れば、こんなに嬉しいことはありません。

▶ 社員想いでとても働きやすい環境。

当社は、結婚して子どもが産まれても働いている女性社員が多く、私の今いる部署でも産休を取られている方もいらっしゃるの、特に女性が働きやすい会社だと思います。有給休暇取得を会社が推奨していて、平日に市役所に行きたい時など、有休でフレキシブルに対応可能。さらに、10年に1回リフレッシュ休暇の取得ができますし、5年に1回5日の連続有休をとることができます。私は現在4年目なので来年から取得できることが楽しみです。社員から制度についての要望を提案できるので、そういった面でも社員の意見が反映されやすいと思います。



たくさんの人に助けってもらったから、次は誰かを支える存在に。



橋爪 佳世 KAYO HASHIDUME

入社年 2007年

専攻 工学部 物質応用化学科

研究開発部門 エネルギー・電子材料研究所 回路技術研究部

▶ 会社の真摯な姿勢に感銘を受けて。

学生時代は有機金属の研究をしていました。触媒を使って、熱をかけただけでは進まないような反応をさせて、有益なものを得るという研究です。炭素と水素の結合って熱をかけるだけでは切りにくいのですが、そこを切ってできる化合物を作っていました。就職活動を始めた私が魅力に感じたのは当社の社訓。住友電工は浮利を追わないことを実践していると説明会で聞き、心惹かれたのです。私自身も真面目でいたいですし、仕事の中身を大切にしたい。そんなところが住友電工と合うかなと。また、本質的に技術を大切にすることに尽力している会社だと、感銘を受けました。

▶ 育休復帰後も変わらない働き方ができる。

2007年に入社し、滋賀にある事業部門に配属。4～5年間、新製品グループでプリント基板の開発を行いました。ハードディスク用のプリント基板の開発では、事業部として初めて取り扱う材料や技術が多く、興味深い開発だったことを覚えています。その後2011年に1回目の産休育休をいただき、復帰の時に大阪の研究所に異動になりました。それから5年後、2人目の産休育休を取得し、復帰してから同じ部署でフレキシブルプリントサーキットの研究支援として、今もFPICの新製品の開発を行っています。組織は以前と違いますが業務内容としては同じです。

▶ メンバーと一緒に考えながら、成功や改善に導いていく。

入社一年目の終わり頃に、協力会社の設備を使って、一緒に開発する機会がありました。そのときに、チームの指揮を執るとか、今日のタスクや結果をまとめて、明日以降どういった実験をするかを外部のチームのメンバーに指示する立場を任せていただいたのです。私の先輩や上司にフォローしていただきながら、協力会社の方々と一緒に協力してなんとか開発できました。このプロジェクトは他のメンバーと一緒に仕事を進めることを体感できた貴重な経験でした。私が現在就いている「主査」という立場は、チーム全体の成果が上がるようにフォローするのが役割。上司から部下の目標管理が私のミッションであると言われていて、意識して取り組んでいます。責任のある立場になって常に心掛けているのが、どのような結果になるかを考察しつつ、どんな実験をすれば改善されるかをメンバーと一緒に考えること。開発が滞りなく進むようなアドバイスをしていきたいと思っています。

▶ 産休・育休を取りやすい職場。

育休を初めて取得したのは2011年。1人目の子どもの時は1年3ヶ月、2人目の時は6ヶ月でした。育休期間は3年を最長として自分で選ぶことができます。子どもを保育園に入れるタイミングは0歳の4月が一番だと1人目の時に学び、2人目の育休は6ヶ月間にしました。育児関係で悩むこともありますが、住友電工には支えてくれる人もいますし、環境も整っているので、私もイキイキと働くことができていると実感しています。将来どんな働き方をするか迷っている方も、自分の能力を発揮したり成長できる環境が当社にはあると、自信を持って言えますね。男女関係なく、仕事を任せてもらえることも魅力的。若いうちから大きな仕事を任せてもらえたり、結婚しても配慮してもらえるので助かっています。

▶ 新製品をつくり、社会に貢献する。

私たちのチームでは日々いろいろな関係者と結果を話し合い、より良い製品開発を行っています。その中で新しい考えが出てきたり、自分で実験の方法を考えて実践し、予想通りの結果が出るのすごく面白いと思います。住友電工には、チャレンジングなことをさせてもらえる環境や社風があると思います。私の上司は、事業部への重要な報告会があったとき、「僕じゃなくて君がやった方がいいと思う」と言ってくださいました。事業部でプレゼンする機会はありませんが、将来のことを考えると必要な経験だから、君がやった方がいいと。資料も上司がつくった方がいいものができるのに、私が作った資料と一緒に時間をかけて手直ししてくれました。その時は、長い目で見て育ててもらっているなと実感しましたね。二児を育てる立場となった今、次は私が若いメンバーを支える側になっていきたいなと思います。



「挑戦」と「安定」が共存する、 魅力があふれる企業。



インタビュー動画はこちら



向 星 宇 KOU SEIU

入社年 2017年

専攻 工学研究科 応用化学専攻

環境エネルギー部門 住電機器システム(株) 大阪製造部

▶ 「日本製」という魅力の秘密を ひも解くために。

中国では、材料系の勉強をしていました。高校生のときに化学の成績が良かったので理系に進学。中国の大学を卒業後、日本の大学に進学したのです。日本の大学では、バクテリアセルロースというハイドロゲルを用いた高機能性材料の開発をしていました。なぜ日本に来たかという、中国では「made in Japan」の評価が高く、その魅力の秘密を知りたかったからです。日本のメーカーで働きたかったのですが、その中でもグローバルな社会を支えるメーカーを希望。あとは、中学生の頃から日本のアニメが好きだったことも影響していますね。

▶ 多様な事業展開、海外駐在、 そして「人」に魅力を感じた。

私が住友電工に入社した決め手は3つ。1つ目は事業の幅が広いこと。自動車・エレクトロニクス・環境エネルギー・産業素材・情報通信という5つの分野で幅広く社会を支えているところに魅力を感じたのですが、これは私が会社を選ぶ軸でもありました。2つ目は、当社は世界40ヶ国に拠点があり、390ヶ所の関連会社が存在すること。これは数が多いだけではなく、海外駐在をすることも可能ですし、若くしてグローバルマネージャーとして活躍できるチャンスがあると思ったからです。3つ目は住友電工で働く「人」。お会いした方々がみなさん優しく、私を受け入れてくれていると感じたので、ここで働くことを決めました。

▶ 会社に入り、よりスケールの 大きい実験がしたくて。

現在は送電ケーブルの接続部分の生産技術を担当。送電接続部はゴム製なので、私が研究していた分子系に該当すると思って希望しました。学生時代はずっと、実験室でスケールの小さい実験をしていたので、入社後は規模の大きな実験をしたいという思いがあったのです。効率のよいものづくりを実現することが、私の役割。現状の生産体制の課題を抽出し、不良品を出さないことを日々の目標としています。また、開発部門と現場の橋渡し役となり、開発段階の製品の成形性を確認するほか、増産に向けたより生産性の高い混合室の立ち上げなど、規模が大きい仕事にもチャレンジしています。現在の役割は、開発段階の製品の生産確認。送電部の接続部は一つひとつゴムでできていて、地上のケーブルに使うものですが、その製品を担当しています。鉄塔からの架空線にも接続部が使われているのです。さらにストレスコーンという製品を、海外・国内関係なく担当。いつか担当する製品が変わったときには、事前にほかの製品も勉強したいという思いもあります。増産に向けて、新しい混合室の立ち上げにも取り組んでいくつもりです。

▶ 挑戦と安定が共存する 珍しい企業。

これから何かに挑戦したい就活生に対して、住友電工はしっかりと後押しをしてくれる企業です。世界390ヶ所にネットワークがありますし、自分が関わった製品が世に広まる機会もたくさんあります。ダイバーシティにも力を入れているので、いろんな人と働きたいという人には向いていると思います。他にも、安定した生活を送りたい人には自信を持っておすすめできますし、福利厚生や制度もしっかり充実しているので、もし結婚したとしても働き続けることができますよ。まとめると、挑戦と安定が共存する珍しい企業だと思っています。研修も、入社後2ヶ月の工場研修に加えて、英語研修や各種の集中研修がありますし、本配属の前に仮配属があるので適性をしっかり見極めてもらえるのもありがたいですね。

▶ とにかくいろいろな事に 挑戦したい。

平日は読書。土日は友達と過ごしたり部屋でのんびり。長い休みは旅行にも行きます。最近、8月に富士山へ登山に行きました。プライベートも充実していて、ワークライフバランスも良いと思います。仕事面では今後、工場やものづくりへの理解を深めてから、設計にも携わりたい。将来的には顧客と直接お会いして交渉等をする技術営業もしたいですし、海外駐在ができるマーケティングなどにも挑戦したい。製作者としての視点も活かして、もっと活躍したいですね。とにかくスポンジのようにいろんなことを吸収したいのです。結婚しても働き続けたいですし、大げさですが、死ぬまで働き続けたいと思っています。これから入社される方は、主体性あって想像力があってグローバルな人、相手の話を聞いた上で自分の思いを論理的に話せる人だと理想的ですね。



女性が活躍する会社だからこそ、 自分の将来が見えてくる。

▶ 土木の分野にロマンを感じて 高専へ進学。

中学生の頃、学校からの帰り道にある山で都市開発がありました。寄り道して遊びにいたりしているうちに土木の分野に興味をもったことがきっかけで高専の土木学科に進学。ただ、高専のクラスには女子が4人しかいなくて、どのような学生生活になるのか心配でした。実験やグループワークは男子と組むことがほとんどでしたが、できるだけ自分から話しかけてコミュニケーションを取ることで、自然に会話ができるようになり、充実した5年間を送ることができました。その後大学へ編入学しましたが、専攻は物理を選択。工学部から理学部への転部は周りからも驚かれましたが、物理は何をするにも基本中の基本で勉強しないといけないと考えたのです。たった2年間の大学生活でしたが、とても充実した楽しい時間でした。

▶ 女性が働いているという 安心感があった。

就職先はもともと土木関連で探していました。大学時代の研究室が金属物性だったこともあり、金属に関連するところがいいなと、ぼんやり考えていたのです。あとは、結婚しても仕事が続けられることも条件の一つ。そんな中、プラントエンジニアリング業界で内定を貰い、そこに就職しようと考えていました。しかしながら、その会社は「くろみんマーク」を取得していましたが、総合職の女性社員が少ないのが少し気がかり。その会社に勤める先輩に相談したところ、総合職の女性が長期間育児休をとった実績はないと言われて不安を感じたのです。研究室の先生に相談すると、住友電工は母校から何人も女性が入社しているし、PC鋼材という主に土木の分野で使われる金属材料を扱っている部門があるということを知り、住友電工に興味をもちました。

▶ ロールモデルとなる先輩が 身近にいること。

就職活動をしていた当時、小学校3年生のお子さんを育てている当社の女性先輩社員とお会いする機会がありました。その先輩は時短勤務を活用して毎日16時に帰っているとのことでしたが、周りにかける負担をできるだけ減らせるよう、仕事の内容は他の人も理解できるように毎日まとめているといったことや、会議の時間は周りに協力してもらっていることなど、どう仕事を進めているかお話を伺う中で、私に子どもができれば1日ってこんな風に進んでいくんだろうなというのが具体的にイメージできました。入社してから定期的に開催される女子会で、日ごろの悩みを先輩方に相談しています。最近は私にも先輩ができ、先輩方と同じように気軽に相談してもらえる先輩を目指しています。

▶ つくったものが 世の中ですべていく面白さ。

ものづくりの面白さは、コストの制約があるなかで顧客のニーズに応え、かつ高品質で生産性の高いものを作ることです。どうやって量産するかを考え、時には生産ラインの開発も必要です。大変なことも多いですが、工場の人と意見を交換しながら設備部門や品質保証部門など様々な部門と協力してプロジェクトを進めます。そして製品が量産できるようになったときは、とても嬉しくやりがいを感じます。PC鋼材は橋梁の内側に入っているのですが外からは見えませんが、苦勞して生産したものが実際に使われている橋梁をドライブすると感慨深いですね。

▶ 仕事とプライベートの 両立に向けて。

一昨年結婚したので、そろそろ子どもが欲しいなと思っています。そのことは上司にも相談していて、面談では真剣に相談に乗ってくれました。最近、開発部門に異動し、CADソフトを使って設計しながら製品の開発や改善に取り組んでいます。時短勤務や月に5回まで認められている在宅勤務も活用していきたいです。そのような働き方のなかでも円滑に業務を進められるよう、先輩方にアドバイスをもらいながら、業務に取り組んでいきたいと考えています。今後は、プライベートも充実させながら設計の仕事だけでなく顧客対応など対外向けの業務に関する経験もたくさん積み、自身のスキルを磨いていきたいです。



岸本 祐香 YUKA KISHIMOTO

入社年 2014年

専攻 理学部 物理科学科

産業素材部門 特殊線事業部 PC技術部

いろんな社員の意見を聞いてみました！

Questionnaire page

アンケートページ

Q 入社を決めた理由

- A**
- 1 福利厚生が充実しているので、結婚後も働き続けられると思ったから。
 - 2 研究、開発、生産技術など様々な職種を経験しながらキャリアを築きたいと考えており、当社が職種別やセクション別採用でないことや、先輩方の話から希望の働き方ができると判断したから。
 - 3 当時、大学で学んだ知識を活かして社会に貢献できる仕事があった。当社はいろいろな分野で社会に貢献していてグローバル化が進んでいるため、入社を決めた。
 - 4 学生時代の研究内容を活かせるから。売上高が大きく、社会への貢献度が大きい大企業で福利厚生がしっかりしていると思ったから。製作所が大都市に近い。
 - 5 就活では当初インフラとメーカー企業を見ており、検討する中でインフラに関わるメーカーでモノづくりをしたと考えていました。当社の話を聞いた時に、電力ケーブルなど様々なインフラ分野に関わっていることを知りました。それらの製品の材料開発から製品製造までに関わりたいため、当社に決めました。
 - 6 電力分野のモノづくりをおこなうメーカーを中心に就職活動をする中、当社の「先輩社員が魅力的」「少数精鋭」「技術を大事にしている」という点に魅力を感じたため。
 - 7 若手でも自分の裁量で仕事を進め、良くも悪くも責任の大きな仕事を任せられるような文化を感じたから。
 - 8 非鉄金属メーカー売り上げ1位だったから。
 - 9 就活時は、どの企業もダイバーシティや女性の働きやすさについて沢山アピールしているものの、実際に仕事へ反映できている会社は少なく、不安に思っていた。そんな中、当社の説明会では、良い面だけでなく今後の課題についても正直に丁寧に説明があり、その真面目さ・誠実さに魅力を感じた。HPを見てみると、2016年から取り組み始めた様々な活動が記載されており、それが社内だけでなく、社外にもきちんとして評価されている（えるぼし、なでしこ銘柄など）ところに、今後の更なる飛躍が期待でき、入社を決めた。

Q 当社のよいところ

- A**
- 1 福利厚生が入社当時（15年前）に比べ現在は、より充実したと思います。働きたい意志と職場の協力があれば、結婚しても出産しても働きやすい制度がある。
 - 2 人を大切にしている。
 - 3 福利厚生は充実しており、女性の働きやすい職場作りに対して周囲は理解しているため、子育てと仕事が両立できる場所。
 - 4 大企業であるものの、一業務に対する担当者的人数は多くなく、少人数のチームで動きやすいこと。若手の時から担当業務に対して意見を反映することができ、また、大きい仕事を担当できること。
 - 5 チャレンジしたいことを応援してくれる。先輩はちゃんと色々教えてくれる。
 - 6 有休が取りやすい・フレックス出勤しやすい。
 - 7 技術力が高い。国内・海外でトップシェアの製品が多い。
 - 8 上長・指導員の指導が丁寧であること。
 - 9 住友と聞くと堅いイメージがあったが、比較的若い人も多く、風通しの良い職場環境であること。思っていた以上に働き方改革が進んでいて、休みを取りやすい職場環境が作られていると感じました。

Q 住友電工を一言でいうと

- A**
- 1 堅実な会社。
 - 2 縁の下の力持ち。
 - 3 真剣。
 - 4 動きは遅いが、大局観をもって社会を見ている。
 - 5 いつも穏やかだが、内に秘めたものがある。
 - 6 一言では言い表せない幅広さが魅力的。
 - 7 多種多様な社員と業務で溢れている。
 - 8 いろんなことが経験できる且つ女性に優しい。
 - 9 質実剛健。
 - 10 伝統と革新が共存している。
 - 11 海外の案件が多い！入社してから海外向けの案件が多いことに驚きました。意外に海外駐在員とではなく海外のローカルスタッフとのやり取りが多く、日本側はマザー部隊として様々な判断を要求されます。
 - 12 ものづくりでインフラを支える。
 - 13 自主性を重んじる。
 - 14 イノベーションを創出して、どんどん新しい技術を持ち、競争力が強い会社。

Q イチオシの社内制度

- A**
- 1 時間単位有休制度。
 - 2 フレックス勤務、時間単位有休など、個人の都合に合わせて勤務時間を管理・調整できる制度があること。
 - 3 在宅勤務制度。異動したばかりでまだ活用していないが、リズムがつかめてきたら必ず使いたい。仕事と家庭の両立には非常に良い制度だと思う。
 - 4 SEI-UNIVERSITYという研修制度です。当社の事業、語学、さらにはMoT(技術経営)などについて、社内外の講師による様々な研修が受講できます。
 - 5 家賃の半額を補助してもらえ、家賃補助制度(上限あり)。
 - 6 5日連続有給休暇(勤続5、15、25、35年の社員が取得可能)、リフレッシュ休暇(入社10年目、20年目、30年目の社員に付与される連続5日間の休暇)。
 - 7 フレックス勤務制度。
 - 8 ジョブリターン制度(出産・育児・介護などを理由として退職した人が当社で正社員として再び働くことができる)。
 - 9 カフェテリアプランのポイント申請制度です。旅行の宿泊費用や映画のチケット、自己啓発の学習まで、幅広いことを補助してくれます。仕事以外のことも楽しけます。
 - 10 横浜製作所・大阪製作所の社員食堂。
 - 11 寮・託児所。
 - 12 育児中の短時間勤務。

Q 将来の夢

- A**
- 1 働き続けながら、子供を成人させたい。
 - 2 世の中の技術や製品進化につながる技術開発をしたい。
 - 3 当社で働くことが社員にとって今よりさらに誇りに思えるような会社にしていくこと。活躍の場を国際的にしていくこと。
 - 4 会社のグローバル展開に貢献することに尽くす。また、努力して稼いだお金で世界中を旅行したい。新製品の開発に向けて、中心的な役割を担う人材になりたい。
 - 5 国際的なエンジニアになりたい。
 - 6 世界を変える力を持つパーソンになりたい。
 - 7 技術のスキルアップをめざし、社外に出ても通用する技術者になる。自分が関わった製品が世界トップシェアになること。
 - 8 自分が研究で携わったテーマを製品化までもっていくこと。
 - 9 カリスマ性をもった人間になる。
 - 10 通信ケーブル製造のプロになりたいです。
 - 11 自分の手掛けた製品を広く世に普及させ、国内外の生活をより良いものになりたい。